



## 新潟大学女性研究者支援室の紹介

医歯学系・教授 林 孝文  
顎顔面放射線学分野

新潟大学には、平成19年12月に「女性研究者支援室」が設置されました。その目的は、女性研究者や研究者を目指す大学院生たちが、男性と同様に研究や勉学に励むことができるよう支援する、というものです。

新潟大学ではこれまで、男女共同参画を推進するために、女性の教員の採用及び管理的職種への登用を進めることを掲げ、女性の積極的な採用をめざすとともに、学内のプロジェクト申請における女性研究者の年齢条件の緩和や、医歯学総合病院において出産や育児で現場をいったん離れた女性医師の復帰への勤務環境の整備、ベビーシッターによる育児支援サービスの利用補助、産前産後休暇期間中の代替教員の任用といった取組みを行ってきました。しかし、教員全体に占める女性の割合は13.5%に過ぎないとされています（平成19年10月1日現在）。国立大学協会が提言している「2010年までに女性の割合を20%に引き上げる」という達成目標がありますが、そのためには今後さらに女性研究者の支援・育成を進めていく必要があると考えられます。

さて、文部科学省が総合科学技術会議の方針に沿って運用を行っております、政策誘導型の競争的資金として科学技術振興調整費というものがありますが、そのなかに「女性研究者支援モデル育成」事業があります。これは「優れた女性研究者がその能力を最大限発揮できるようにするため、大学や公的研究機関を対象として女性研究者が研究と出産、育児等を両立し、環境整備や意識改革など研究活動を継続できる仕組みを構築するモデルとなる優れた取り組みを支援する」目的で行わ

れています。これに対して平成18年度には10大学、平成19年度にも10大学、平成20年度には13大学が全国で採択され、それぞれが独自色を出して様々な支援モデル育成に取り組んでいます。新潟大学は平成20年度に「キャンパスシッターによる育成・支援プラン」と題する提案が採択され、女性研究者支援室の支援事業の一部はこの助成により進められています。

女性研究者支援室による支援事業は、「女性研究者支援」と「女性研究者育成」の二本柱からなっています。そしてそれぞれ、女性研究者支援室のスタッフと兼務教員からなるチームが構成され、相互に連携しながら、次のような事業を推進しています。

**1) 女性研究者支援**：所定の研修を受けた本学在学学生「新大シッター」による大学構内のプレイルームでの臨時・一時的な保育支援、IT技術によるユビキタスリサーチ環境の整備による育児期間中の在宅勤務支援、研究補助員の雇用などによる小学校6年生までの子どもを持つ女性研究者への支援、「新潟女性研究者人材バンク」の整備による育児休業中の代替教員及び研究補助員への活用といった、子育て支援のためのさまざまな環境整備を進め、研究の継続をサポートします。

**2) 女性研究者育成**：女性の大学院生による出身学校等への出前授業を通じて、中高生への大学や研究に対する興味関心を引き出します。学部生・大学院生にはキャリア形成に関する授業の開設などによる「キャリア形成支援」を行い、大学院在学中の女性並びに大学院進学をめざす女性をサポートしていく予定です。また研修を受けたメン

ターの専門的なアドバイスが受けられる「メンターによる支援」も予定されています。

特にこれらの中でも、筆者が兼務教員として所属する「子育て支援チーム」の役割について少し詳しく述べます。

#### ①「新大シッター」による保育支援制度の構築

新潟大学の女性研究者支援室の独自色として特筆すべきものとして、本学在学生の「新大シッター」による大学構内での臨時・一時的な保育支援があげられます。「新大シッター」とは、本学在学生が、大学が指定した所定の研修を終了し、大学の認可と称号を受けて、学内研究者の要請に応じて、大学構内のプレイルームで臨時、一時的に子どもを預かり保育を行うものです。子育て中の女性研究者は保育園や学校の利用できない曜日や時間帯にも実験や研究を行わなければならない状況があります。「新大シッター」による子育て支援は、このような突発的な状況をサポートし、安心して研究や教育に専念できる環境を提供できると

考えられます。また、支援する学生の側からすると、子どもを預ける研究者はロールモデルとなり、身近に研究者の生活を見ることができることから、将来子どもをもちながら研究を続ける生活をイメージする機会になることが期待されます。

#### ②ユビキタスリサーチ支援（いつでもどこにいても研究活動を継続するための支援）

インターネット無料通信システムを利用したユビキタスリサーチ環境を整備し、育児期間中の在宅勤務を支援することをめざしています。そのほか、前述のように、研究補助員の雇用による女性研究者への支援や新潟女性研究者人材バンクの整備なども予定されています。

新潟大学女性研究者支援室について興味をお持ちの方は、下記アドレスから詳細を知ることができます。

<http://www.niigata-u.ac.jp/gakugai/is/joseishien/>



新大シッターを希望する学生の保育研修風景